

ブドウとアンズ 福山特産アイス

売り上げ一部 被災地に

の支援金に充てる。

1本130円。沼隈町産のぶどうジュースと田尻町産のあんずジャムを使う。地産地消を進めるため、昨年8月に研究を始めた。売り上げの5%を被災地の支援団体などに贈る。研究会の中島基晴会長(44)は「福山市の特産品を復興に役立てたい」と話している。

県東部の約20業者でつくる備後特産品研究会とアイスクリーム店の東屋(府中市)が、福山市特産のブドウとアンズを使った2種類のアイスクャンディを考案した。売り上げの一部を東日本大震災

17日に同市駅家町のふくやまちゅーピーパーク(中国新聞福山制作センター)である「びんごちゅーピーま



つり」で発売。その後は同市延広町の備後ふくやま丸ごと物産館などで販売す

考案したアイスクャンディを

アピールする中島会長

(水川恭輔)